

平成30年度事務事業評価 実施結果報告

1. 平成30年度事務事業評価の概要

(1) 目的

- ①定期的に事業実施結果の検証を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を検討します。
- ②事業実施職員が主体的かつ客観的に事業を評価することにより、職員の意識改革を推進します。
- ③評価は公表し、見直しの検討過程を町民の皆さんに情報提供します。

(2) 評価の方法等

①評価方式	事後評価方式
②評価対象	64事務事業
③評価主体	町
④評価時点	平成30年度の状況
⑤評価者	一次：事務事業を所管する係長等 二次：行政改革推進本部幹事 三次：行政改革推進本部
⑥評価方法	ア 事務事業の事業費やコストを分析する。 イ 必要性の判断（町が実施する必要があるか、目的・役割が社会情勢の変化で薄れていないか、事業を休止・廃止した場合の影響は大きいかな。） ウ 有効性の判断（事業が目的達成につながっているか、期待された効果が実際に得られているか。） エ 効率性の判断（成果やサービス水準を落とさずにコストを削減する余地はないか、投入した資源に見合った効果が得られているか。） オ 公平性の判断（受益者負担は適正であるか、受益者が一部に偏っていないか。） カ 4つの評価を勘案して総合評価 (A：適正、B：ほぼ適正、C：多少見直し、D：見直し)

(3) 実施経過

日付	内容
① 5月22日	第1回 行政改革幹事会 平成30年度事務事業評価の内容検討
② 5月27日	第1回 行政改革本部会 平成30年度事務事業評価の内容確定
③ 5月28日 ～ 6月20日	一次評価作業 事務事業を所管する係長等による一次評価
④ 6月25日 ～ 6月27日	二次評価作業 行革幹事を総務・社会文教・観光経済の3グループに分けて実施
⑤ 7月4日	第2回 行政改革幹事会 二次評価取りまとめ結果の確認・結果案の確定
④ 7月16日	第2回 行政改革本部会 事務事業評価の確定
⑤ 7月29日	第1回 行政改革推進委員会 事務事業評価の報告

2. 平成30年度評価結果

○評価結果は、全64事業中、『A：適正』は42事業、『B：ほぼ適正』は15事業、『C：多少見直し』は7事業、『D：見直し』は0事業となりました。事業ごとの評価結果は、次表のとおりです。

○『C：多少見直し』、『D：見直し』となった事業については、次表のコメント欄に見直し方針をお示ししました。

平成30年度事務事業評価 評価対象事務事業一覧表

H30	事務事業	事業担当部署・事業評価者		総合計画 章-節	二次評価					コメント	
		担当課	担当係		必要性	有効性	効率性	公平性	総合		
1	職員給与支給事務	総務課	庶務文書係 (危機管理室)	5-2	A	A	B	A	B	自庁処理による事務効率化の検討を。	
2	職員健康管理			5-2	A	B	A	A	B	受動喫煙防止対策として、建物外に喫煙所設置を。	
3	町例規集システム化事業			5-2	A	A	B	A	B	係ごとのログイン権限により作業の効率化の検討を。	
4	公用車両購入事業	総務課	管財・有線係	5-2	A	B	A	A	B	安全性向上のためドライブレコーダの設置を。	
5	庁舎建物維持管理			5-2	A	A	B	A	B	エレベーター・ボイラー等設備の計画的更新を。	
6	コミュニティバス運行	総務課	企画係	4-1	A	B	B	A	B	広報等を通じて利用の促進を。	
7	若者マイホーム取得等補助事業			4-1	A	A	A	B	B	若者定住に係る町独自の補助制度である旨PR推進を。	
8	サテライトオフィス開設支援			1-2	B	C	C	B	C	まずはサテライトオフィス及びコワーキングスペース等の誘致活動を積極的に行う。	
9	友好都市交流事業(足立・玉村)	総務課	人権政策室 (友好交流係)	1-1	B	B	B	C	B	友好交流協会への新規会員募集及び当町への来町交流推進の検討を。	
10	スポーツ平和交流事業(志賀高原Letsスキー)			3-2	B	B	B	C	C	町内小中学生の参加者増の推進を。	
11	人権・同和教育推進事業			5-3	A	B	A	A	A		
12	給報データ管理システム	税務課	課税係	5-2	A	A	A	A	A		
13	インターネット公売	税務課	収納係	5-2	A	B	A	A	A		
14	ごみ減量化対策事業	健康福祉課	住民環境係	4-2	A	A	A	A	A		
15	交通安全推進事業			4-3	A	A	A	A	A	A	
16	民生児童委員(福祉委員)活動	健康福祉課	福祉係	2-3	A	A	A	A	A		
17	重度心身障害者介護慰労金支給事業			2-3	A	A	B	A	B	寝たきり老人介護慰労金と合わせ対象要件の検討を。	
18	通園対策事業(定期バス補助金)	健康福祉課	子ども支援係	2-1	A	A	A	A	A		
19	児童家庭相談事業			2-1	A	A	A	A	A	A	
20	不妊・不育症治療補助事業	健康福祉課	健康づくり支援係	2-1	A	A	A	A	A		
21	精神障害者社会復帰訓練(地域活動支援センター)			2-3	A	A	A	A	A	A	
22	産後ケア事業			2-1	A	A	A	A	A	A	
23	国保ヘルスアップ事業	健康福祉課	医療保険係	2-2	A	A	A	A	A		
24	福祉医療給付事業(こども医療)			2-2	A	A	A	A	A	A	
25	地域福祉センター管理運営	健康福祉課	介護支援係	2-3	A	A	C	A	B	施設の総合的な維持管理について検討を。(委託を含めて)	
26	介護保険低所得者対策助成事業			2-3	A	A	B	A	A		
27	介護慰労金事業			2-3	A	A	B	A	B	重度心身障害者介護慰労金と合わせ対象要件の検討を。(金額・期間等)	
28	新規就農者確保事業	農林課	農業振興係	1-2	A	A	A	A	A		
29	人・農地問題解決加速化支援事業			1-2	C	C	C	B	C	取り組み内容は必要だが、補助要件と効率性を考えると国庫事業としては見直す必要あり。	
30	産地パワーアップ事業			1-2	A	A	A	A	A	A	
31	多面的機能支払交付金事業	農林課	耕地林務係	1-2	A	A	B	A	A		
32	森林セラピー事業			1-2	B	B	B	A	A		
33	松くい虫防除対策事業			1-2	B	B	B	A	A		

H30	事務事業	事業担当部署・事業評価者		総合計画 章-節	二次評価					コメント
		担当課	担当係		必要性	有効性	効率性	公平性	総合	
34	スノーモンキーホリデー親にバス運行事業			1-1	B	C	D	B	C	関係者と連携して、将来的に民間に渡せるよう新しい商品を考える。
35	志賀高原の「グランド」開催事業(エコサイクリングイベント)	観光商工課	観光商工係	1-1	C	B	C	B	C	集客のため関係団体に働きかけを行い、ヒルクライムに移行していく。
36	大学との観光連携事業			1-1	A	A	A	A	A	
37	国立公園整備事業	観光商工課	観光施設係	1-1	A	A	A	A	A	
38	観光施設整備事業(やま広親水公園)			1-1	A	A	B	A	A	
39	ユネスコエコパーク推進事業(PR関連)	観光商工課	ユネスコエコパーク推進室	4-2	A	B	A	B	A	
40	環境学習タブレット活用事業			4-2	C	C	C	A	C	学校関係者と活用方法を検討する。使用しなければ廃止も検討。また、台数を減らしてイベントで有効活用できないか検討する。
41	舗装修繕事業			4-1	A	A	B	A	A	
42	町道道路改良事業(オーバーレイ)	建設水道課	建設係	4-1	A	A	A	A	A	
43	県工事負担金			4-1	A	A	A	A	A	
44	公営住宅等の維持管理			4-1	A	B	B	A	A	
45	美しい町づくり支援事業	建設水道課	計画監視係	5-1	A	A	A	A	A	
46	急傾斜負担金(横湯・一の瀬等)			4-3	A	A	A	B	A	
47	東部浄水場更新事業			4-1	A	A	A	A	A	
48	アセットマネジメント経営戦略	建設水道課	水道管理係 上水道係	4-1	A	B	B	B	A	
49	上下水道料金システム			4-1	A	A	A	A	A	
50	農業集落排水事業 下水台帳作成			4-1	A	A	A	A	A	
51	下水道不明水調査事業	建設水道課	下水道係	4-1	A	A	A	A	A	
52	企業会計化事業			4-1	A	A	A	A	A	
53	消防用器具整備			4-3	A	A	B	B	B	穴あきホースの補修使用の検討を。
54	自主防災活動物品整備	消防課	消防防災係	4-3	A	A	A	B	B	積極的な制度周知と補助対象の拡充検討を。
55	町消防団装備配置事業			4-3	A	A	A	A	A	
56	小中学校英語教師招致事業			3-1	A	A	A	A	A	
57	学校給食支援事業	教育委員会	学校教育係 学校給食センター	3-1	A	A	A	A	A	
58	奨学資金貸付事業(拡充)			3-1	A	A	A	A	A	
59	志賀高原少年スキー大会補助			3-2	B	B	B	B	B	事業の内容について検討を。
60	志賀高原ロマン美術館管理運営事業	教育委員会	生涯学習係 スポーツ係	3-3	A	B	C	B	C	スノーモンキーの観光客のトイレ利用が多く、文化施設というより観光的施設に移行する等あり方の検討を。
61	教育懇談会実施事業			3-1	A	A	B	A	B	開催場所の検討を。
62	ほなみふれあいセンター維持管理			3-2	A	A	A	A	A	
63	よませふれあいセンター維持管理	教育委員会	公民館	3-2	A	A	A	A	A	
64	コロナフェスティバル開催			3-2	A	A	A	A	A	

総合 A 42 問題なし(現行のまま実施)
 B 15 ほぼ問題なし(事業の改善を検討)
 C 7 多少見直す余地あり(事業の改善を検討)
 D 0 見直す必要あり(事業の廃止・休止等を検討)
 計 64